

在宅医療の現状と今後 -多職種連携の視点から-

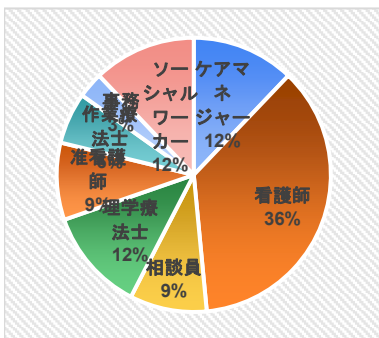
平素より大変お世話になっております。

先日はご多忙の中、勉強会へご参加いただき誠にありがとうございました。

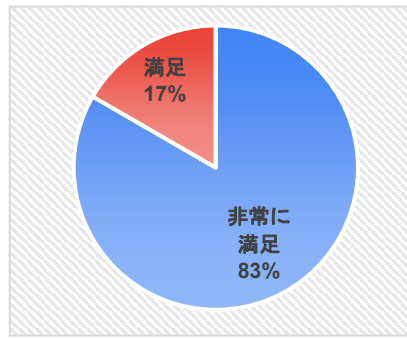
当日実施いたしましたアンケート結果について、ご報告申し上げます。

- ・開催日：令和8年4月28日(火)
- ・出席者：32名
- ・講演：「高齢者に必要な医療とは？」
杏林大学医学部附属病院 長谷川教授(救急総合診療科・高齢診療科)
- ・講演：「消化器外科からみた在宅医療連携の重要性」
杏林大学医学部附属杉並病院 鈴木教授(消化器・一般外科)
- ・講演：「急性期医療におけるMSWの役割と在宅医療チームとの連携の実際」
杏林大学医学部附属杉並病院 宇都宮課長(患者支援センター/MSW)
- ・講演：「実際の事例紹介」杉並オリーブホームケアクリニック 大草院長

●ご出席者職種

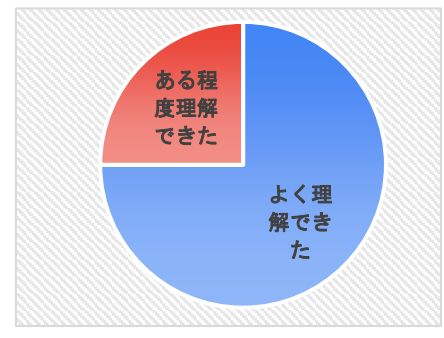


●内容の満足度



| | |
|-------|-----|
| 非常に満足 | 83% |
| 満足 | 17% |
| 普通 | 0% |
| やや不満 | 0% |
| 不満 | 0% |

●理解度



| | |
|-----------|-----|
| よく理解できた | 75% |
| ある程度理解できた | 25% |
| やや難しかった | 0% |
| 難しかった | 0% |

●印象に残った内容

- ・疼痛コントロールに漢方も役に立つ事
- ・今後、高齢で認知症の患者さんが増えていくこと。それにより地域との連携がより重要になっていく。
- ・在宅医との連携内容(MCSや報告書への記載内容)
- ・地域の連携の大切さ
- ・現在の膵臓癌治療について、院内・院外の医療連携システムについて
- ・杏林杉並病院での在宅連携体制、緩和チームの動き、ACPのタイミングと重要性、PDの診療最前線の情報と治験データ推移、痛みの種類と対症療法メニュー選択について、医療と介護の連携シートについて、オリーブホームケアクリニックのフィンガー先生が疼痛緩和に長けたDrということ
- ・膵臓がんの治療 GS療法
- ・ACPについて話をするタイミングについて、膵臓がんへのアプローチについて、神経障害性疼痛痛みの軽減について、MSWと在宅チームの連携について

●今後聞きたいテーマ

- ・在宅介護の実際について
- ・昨日お聞きした、漢方薬の薬効などについて詳しく知りたいと思いました。
- ・最期の迎え方 様々な症例を伺いたい
- ・漢方の講義(使い方、飲みにくさ改善のためのヒント、患者様への説明のポイント)
在宅診療・訪看・薬局・介護(ケアマネ、生保担当、福祉事務所などの行政、ヘルパーなど)との連携の取り方と双方のニーズについて
- ・一人暮らしの認知症利用者への対応
- ・看取り医療

●ご意見・ご感想

- ・とても興味深い内容でした。
- ・コロナ以降、このようなお話し聞く事も少なく、臍癌についてはちょっとびっくり致しました。私はケアマネですが、すごく気になりました。認知症とか？高齢者の`お話とか？色々ありますが。杏林大学病院の今も勉強になりました。ありがとうございます。
- ・演者の先生方と距離が近く、話しやすい距離感が良かったです。質疑応答の時間がもう少しあればさらに良かったと思います。
- ・講義が、わかりやすく、興味深かったです。
- ・専門用語が難しいところもありましたが、次の機会も是非参加させて頂きたく存じます。
- ・笑いありの空間で、とても楽しく過ごすことができました。また、各職種・立場からみた連携については多くの学びを得ることができました。本日からの業務・利用者様へのケアに生かして参ります。
- ・また同じような機会がありましたら、是非参加させてください。
- ・設営、事前準備をしてくださったオリーブホームケアクリニック杉並の皆様にご感謝申し上げます。
- ・参加させて頂き、ありがとうございました。
- ・院内、院外の連携がしっかりされてると思いました。私どもとしても、その輪に参加出来ればと思いました。

●今後の予定

- ・皆様の聞きたいテーマから

漢方について

(参考) 食思不振の漢方の使い分け

補中益気湯、六君子湯、半夏瀉心湯、人參湯

(参考) 便秘時の漢方の使い方

大黃甘草湯、麻子仁丸、大建中湯、潤腸湯、桃核承気湯

等々

※次回の勉強会のテーマとして企画できればと考えております。

皆様の貴重なご意見・聞きたいテーマを今後の勉強会運営に活かしてまいります。

引き続き、どうぞ宜しくお願い申し上げます。